

平成 23 年 6 月 22 日

各 位

本店所在地 大阪市東成区神路三丁目 8 番 36 号
会社名 FCM株式会社
代表者 代表取締役社長 市居 律雄
(JASDAQ・コード番号: 5758)
問合せ先 専務取締役 川森 晋治
電話番号 (代表) 06-6975-1324

支配株主等に関する事項について

当社の親会社である古河電気工業株式会社について、支配株主等に関する事項は、以下のとおりとなりますので、お知らせいたします。

1. 親会社、支配株主（親会社を除く。）又はその他の関係会社の商号等

(平成 23 年 3 月 31 日現在)

名称	属性	議決権所有割合 (%)			発行する株券が上場されている 金融商品取引所等
		直接所 有分	合算対 象分	計	
古河電気工業株式会社	親会社	55.2	—	55.2	株式会社東京証券取引所 市場第一部 株式会社大阪証券取引所 市場第一部

2. 親会社等の企業グループにおける上場会社の位置付けその他の上場会社と親会社等との関係

① 親会社等の企業グループにおける位置付け、親会社等との取引関係や人的・資本的關係

当社は、親会社である古河電気工業株式会社（以下、古河電工）を中心とする企業グループの中で「電装・エレクトロニクス」のセグメントに属して事業運営を行っております。当社と古河電工との間には、原材料・商品の仕入及び商品・製品の販売の取引関係があります。また、古河電工の従業員 1 名が当社の取締役を、従業員 2 名が当社の監査役を兼任しております。古河電工は、平成 23 年 3 月 31 日現在で当社の議決権の 55.2%を所有しております。

② 親会社等の企業グループに属することによる経営・事業活動への影響等

親会社である古河電工は、当社の原材料の仕入れにおいて大口かつ安定した取引先であります。古河電工グループ外の企業との取引条件と同様のものであり、当社にとって価格メリットがある場合は古河電工以外の企業から原材料を購入しております。また、親会社及びグループ他社とは機能や品種の違いから事業領域が異なっており、事業の棲み分けが成り立っております。

③ 親会社等からの一定の独立性の確保に関する考え方、施策及びその状況

当社におきましては、事業活動を行う上での承認事項など親会社からの制約はなく、当社独自の研究開発、生産、販売活動を行っております。また、役員の兼務状況も当社独自の経営判断を妨げるものではなく、一定の独立性が確保されていると考えております。

(役員)の兼務状況)

(平成23年6月22日現在)

役職	氏名	親会社等又はそのグループ企業での役職	就任理由
非常勤取締役	素谷 順二	古河電気工業株式会社 執行役員 電装・エレクトロニクスカンパニー エレクトロニクス・コンポーネント 事業部長	コーポレート・ガバナンスの機能強化のため当社から就任を依頼
非常勤監査役	国安 哲史	古河電気工業株式会社 CSR推進本部監査部長	コーポレート・ガバナンスの機能強化のため当社から就任を依頼
非常勤監査役	柳 登志夫	古河電気工業株式会社 経営企画室主査	コーポレート・ガバナンスの機能強化のため当社から就任を依頼

3. 支配株主等との取引に関する事項

当社は、主に伸線加工をするための原材料(銅線)を古河電工から仕入れております。
また、製品として古河電工に販売しております。

(自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日)

属性	名称	取引内容	取引金額 (千円)	科目	期末残高 (千円)
親会社	古河電気工業株式会社	商品製品の販売	958,091	売掛金	129,279
		原材料商品の仕入	7,348,944	買掛金	2,104,418

4. 支配株主との取引等を行う際における少数株主の保護の方策の履行状況

当社は、議決権の過半数を有する親会社として古河電気工業株式会社が存在しますが、親会社と取引を行う場合には、市場等の客観的情報に基づき、合理的かつ適正、適法にこれを行うことを方針としております。また、事業の運営に当たり、親会社からの自立性を保ち、親会社と親会社以外の株主の利益が実質的に相反するおそれのある親会社との取引その他の施策を行う場合には、取締役会および経営会議において多面的に議論し、これを決定することとしております。

以 上